

同心

DOHSIN

2010 15号

クリニックだより

発行者

医療法人・いしくろクリニック

金沢市窪4丁目515番地

TEL (076)243-2500

編集責任者

石黒 修三

同心の由来

病いを持つひと、瘥すひと。同じ心でいたいのとの願いからつけました。

「これからの仕事」

昨年の四月に、大病院から伊藤先生をいしくろクリニックの副院長に迎えました。「えっ、なら。院長は、早晚引退か？」などと、なぜか早とちりするひともありたりして。私はこんなにピンシヤンしているのですがね……

でも、ありがたいことです。時間的な余裕ができるということ。は。ふり返れば、開業以来の十五年、六年、まさに無茶苦茶でした。多くの患者さん、膨大な仕事量。忙し過ぎました。あつというまに時間が過ぎていく。立ち止まって考える時間さえなかつたように思います。いつも、「お前の仕事はそれでよいのか？」と問い続けていました。

患者さんたちの苦しみや不安を……

頭が痛い、ボーっとする。めまいがする。手足がしびれると訴える患者さんたち。ひよっとして脳腫瘍ではないか？はたまた脳梗塞か？いや、アルツハイマー病の始まりではないか？などと、患者さ

んの不安はとどまるところを知りません。確かに、頭の病気は怖いものです。致命的なものが多く、でも、それが本当の頭の病気ならです。ほとんどのひとたちは、柳の枝をみて幽霊ではと怯えるように、実は妄想に苦しんでいるだけなんです。この患者さんたちの苦しみや不安を取り除いてあげた



大病院に負けない最新の医療機器を駆使して

い。そのためには、患者さんに正しい知識を持ってもらう。

大病院に負けない最新の医療機器を駆使して、病気のないことを患者さんに納得してもらおう。これが私の開業理念でした。

「先生の本を読んで頭の病気が怖くなくなった」、「診てもらって

からすっかり安心して元気になった」というような話を聞けるのはありがたいことでした。でも、その一方で、「ただんだん歳をとっていくが、このさきも大丈夫か？」と、尽きせぬ不安に悩む人たち。手足の麻痺やしびれといった後遺症を持ち続ける人たち。アルツハイマー病のように治らない病気の患者さんやその家族。うつ病やパニック障害に悩む若い人たち。これらの老いることや生きることに関心苦しむ人たちのなんと多いことか。もう「あなたは脳の病気ではありません。大丈夫ですよ」というだけでは済まなくなってきたのです。

悩む人たちの横に……

かといって、今はまだ、私に何が出来るわけでもありません。ただ、これまで以上に、心の問題に悩む人たちの横にいてあげたい。訴えに耳を傾けるだけでも良い。少なくとも逃げないで、あきらめないで、どんな手助けができるのだろうかと模索したい。それが、これからの私の医者としての本当の仕事になるように思います。

(院長)

ポリープと早期がんの治療法

いしくるクリニック 副院長 伊藤 博



従来の外科手術に代わる新しい治療法

大腸の一番内側で大便の通り道である粘膜に隆起(りゅうき)する組織を大腸ポリープといいま
す。大きく腫瘍性、非腫瘍性に分
けられます。腫瘍性の中で最も多
いのは腺腫で、次は過形成性ポ
リープです。このうち腺腫が問題
で、数年かけて進行し、その一部
ががん化します。小さなポリープ
のほとんどは症状がでませんが、
大きくなると便に血が混じ
ることがあります。また、腸重積
をおこしたり肛門外に出してしまう
こともあります。

腺腫の疑いのあるものは切り取
ります。基本的には内視鏡で見な
がら高周波電流で切除するポリベ
クトミーを行います。大きな病変
は内視鏡による粘膜切除にて切除
し全体の顕微鏡検査を行います。
5ミリ以下のポリープはがん化の
危険性が低いため、経過観察でよ
いとされています。非腫瘍性の小
さなポリープは治療をしません。
ポリープを切除する際には出血し
たり腸が破れたりする危険性が少
なからずあるため、当院ではこれ
らを極力回避するため内視鏡的粘
膜切除術(E.M.R)という方法で
安全に行うように努めています。

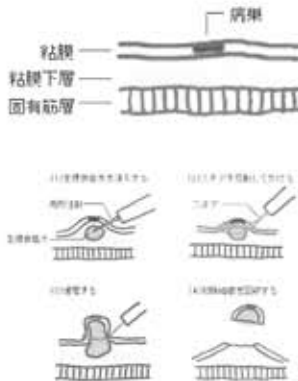
内視鏡的粘膜切除術(E.M.R)

治療方法は以下のように簡単で
す。

- ①内視鏡を挿入する
- ②病変部の根元に生理食塩水を注
射し水ぶくれを作り、病変のあ
る粘膜を「水ぶくれ」の上にあ

- る状態にする
- ③水ぶくれになった部分をスネア
と呼ばれる金属の輪でがっちり
締め付ける
- ④高周波電流で焼き切る
- ⑤焼ききったあとのキズをクリッ
プでふさぐ

その場ですぐに内視鏡のボタン
を切り換え、前号で紹介した「特
殊光」で観察し、きちんと病変組
織が取り切れたかを確認します。
後日顕微鏡で観察し、がんやポ
リープが切り口に残っていないか
を確認します。この方法は、大腸に
限らず、胃や食道の早期がんに対
しても、従来の外科手術に代わる
新しい治療法として脚光をあびて
います。



私はこうしている！

「特殊光」を利用した
最新式内視鏡診断



これまで発見が困
難であった早期の喉
頭がん、食道がんは
特殊光へのスイッチ
操作一つで一目瞭然

です。微小な早期胃がんの発見や
広がりもすぐにわかるだけでな
く、胃がんの分化度(転移しやす
いたちの悪いがんかどうか、おと
なしがんかどうか)の鑑別にも
とても有用です。大腸では、過形
成性ポリープか腺腫か、がんかど
うかは専門医なら即座に見分ける
ことができます。いずれのがんで
も内視鏡による切除の際には、ど
こまで切除すればよいか、取り残
しがないかどうかはスイッチの切
り替え一つですぐにわかります。
現在、この特殊光を搭載した内
視鏡は大病院にしかありません。
当院では大病院と同じ高性能の内
視鏡で即座に診断し、治療も日帰
りでできます。(副院長)

新しいCT装置はスゴイ!

好評のオープン型MRI装置に次いで、昨年五月に新しくマルチスライス型CT装置が導入されました。マルチスライスとは、一度に何層ものデータが同時に得られるという意味です。コンパクトな外観でありながら、パワーがあります。また、放射線被曝の量も少なく体に優しい装置で安心して検査を推奨することが出来ます。



マルチスライス CT スキャン

目的とする部位を薄いスライス断面で検査することで、ごく小さな初期病巣を早期に発見することが出来ます。

また、従来型CTは単に横断像

を得ることが主な目的でしたが、新型CTでは多くの画像データ(再処理)を再処理することで、3D(三次元立体)画像はもとより縦横斜めの断面を自由に見やすい画像として作成することが出来ます。また、メタボリックの原因となる内臓脂肪も早く正確に測定することが出来ます。

これからも当院の放射線技師として、より高い技術を目指して地域の方々の健康維持・増進に寄与していきたいと思っています。

(レントゲン)

予約制を始めて...



待合室で待つ時間は、少し変わってきましたでしょうか? 会計時に「今日早かったー。」と言ってもらえた時、本当に嬉しく思います。予約を取る際も、同じ時間帯に集中しないようにといろいろ考えておりますが午前中は人気が高く、予約もすぐうまってしまいます。体調の良くない方や、急に検査になる方もいますので、待ち時間が少し

長くなる場合もあります。お急ぎの方はどうぞ、受付まで声をかけて下さい。

また、電話での予約も受け付けております。当日でも、なるべく患者さんのご希望に添えるよう予約を取りたいと思っておりますので、検査予約を含め、変更などのご相談もお気軽にお電話ください。(受付)

内視鏡の検査ができます



当院では平成二十年十月から内視鏡の検査を実施していましたが、時々、「ここ

でもカメラの検査が出来るのですか?」と聞かれることがあります。患者さんにはまだまだ周知されていないようですが、去年は多くの方が胃・大腸の内視鏡検査を受けられました。検査時はほとんどの方が鎮静剤を希望され、苦痛も少なく「もう検査が終わったの?」という言葉が聞かれます。

すこやか検診(金沢市)では胃カメラの検査も適応になりました。バリウムは飲みにくくて...

検査を拒まれていた方、ぜひ当院で胃カメラをしてみませんか? 検査時間は五十分と短く、バリウムよりも胃カメラの方が正確に診断できます。あらかじめ電話で予約していただければ、検査出来ます。(看護師)

新しいマイクロ波治療

温熱療法の一つですが他のホットパックや遠赤外線に比べ、より深部を暖めることができます。また、本体も小型化し治療アンテナ(照射部)の動く範囲も広がりましたので、あらゆる患部も正確に暖めることが可能になりました。

リハビリでは、はじめに温熱療法を行いますので、既に多くの方々が試され好評を得ています。注意事項としましては、金属装身具、ラメなどの金属を含む衣類、ネックカラー、コルセット、湿布、カイロなど施術前にはずしておいて下さい。

これからも患者さんが喜ばれる顔を目標に頑張っていきますので宜しくお願いいたします。

(リハビリ)

「めまいが落ち着くと同時に吐くことがなくなり、また血圧も正常に戻ってくるのです。」

「ロ」 「めまろ」 ヲ聞こしめ、



グルグル回るめ
まいから、歩くと
ふらつく、体がフ
ワフワするめまい

に、目の前が暗くなるようなめまいなどいくつもあります。それぞれ原因が違いますが、患者さんには区別がつきません。急に起きためまいに吐き気や嘔吐を伴ったり、まして血圧が高くなっていたりすると、「これは絶対脳出血や」とか「脳梗塞?」、いや、「脳腫瘍かも?」とほとんどパニックになってしまいます。

が、それはまさに杞憂というものの。「今にも死ぬかもしれない」と思うような、急に自分や周りがグルグル回りだして、それこそ天が崩れ落ちそうに思うようなひどいめまいのほろが怖くない。脳の病気とも生き死にとも関わりがない、内耳というところに問題が起きた耳鼻科の病気です。長くても一週間、普通は二、三日もす

ればケロッともとの元気なあなたに戻ります。

納得に精密検査が:

と、どれだけ声を暖らして説明しても、今時の患者さんは納得しません。だから、MRIやMR Aなどの頭の精密検査が必要になるのです。そして、当然のことながら、脳にはまったくキズはついていません。脳血管の流れもスムーズでも異常はありませんよということになります。

が、それでも、「でも、耳の病気のなにどうして吐いたりするの?それに、血圧が上がるといことは、脳に重大な変化が起きたということでは?」と、患者さんの不安はなかなか鎮まりません。実は、脳幹というところにめまいの中枢があるのですが、そのすぐ横に嘔吐中枢や血圧の中枢があるのです。内耳からの異常刺激が脳のめまい中枢を興奮させ、同時に嘔吐中枢や血圧の中枢を一時的に興奮させるのです。それが証拠

に、めまいが落ち着くと同時に吐くことがなくなり、また血圧も正常に戻ってくるのです。

勿論、血圧が上がるのには、突然起きためまいに対する不安そのものが原因になっているということもあります。ことに、もともと血圧が高くて降圧剤を服用している患者さんなどは、めまいがして一時的に血圧が上がっただけなのに、「血圧が上がったためにめまいがした。すわっ、脳出血か?脳梗塞か?」と心配され、更に血圧が上がってしまうということになりかねません。

めまいの99%は良性

ならば、「命に関わるようなめまい」というのはどんなめまい?と、ようやく脳外科医者の私の出番が回ってきたようです。が、脳腫瘍や脳梗塞といった怖い病気の話は、次の号の「同心」でお話しましょう。ただ、今回は最後に、絶対に忘れないでほしいことをひとつ。「めまいの99%は良性。怖くない病気です。」

(院長)

肺炎球菌ワクチン
受け付けています

肺炎の原因で一番多いのが肺炎球菌による肺炎です。これを予防するためのワクチンがあるのをご存知ですか?さらにインフルエンザワクチンも受けることでより高い肺炎予防効果があらわれます。高齢者や持病のある人はお勧めします。予約制で一回7500円、基本的には一生に一回の接種となりますが、一回接種をして五年以上経った場合に、高齢者や重篤な病気を持っている方は再接種を行うことがあります。(看護師)

編集後記

人は否定的な言葉(つらい、悲しい、つまらない、嫌だ、疲れた)だけを毎日言ったり、浴びたりしていると、心身ともにダメージをうけるようです。逆に肯定的な言葉(うれしい、楽しい、幸せ、愛している、大好き、ありがとう、ツイてる)だけを言いつづけ、否定的な言葉を使わないでいると難病も治るほど元気になります。言葉は毒にも薬にもなります。薬になるような言葉を発し続けたいものです。(副院長)